

表現技法・練習問題

○次の文章・詩などを読んで、それぞれ表現技法が使われている部分に線を引き、どの表現技法が使われているか答えましょう。

① やわらかに柳あをめる北上の

岸辺目に見ゆ泣けとごとくに

【石川 啄木】

② 大寺を包みてわめく木の芽かな

【高浜 虚子】

③ 智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。

【夏目 漱石「草枕」より】

④ おうい雲よ

ゆうゆうと

馬鹿にのんきそうじゃないか

どこまでゆくんか

ずっと磐城平の方までゆくんか

【山村 暮鳥「雲」より】

⑤ のろいな

のろいな

なのはなの

はたけのなかをゆく汽車は

ひら

ひら

ひいら

あとからその汽車

追つかける蝶々
ちようちよう

【山村 暮鳥「春」より】

⑥ その時です。にわか 俄に天井に白い泡がたって、青びかりのまるでぎらぎらする鉄てつ

ほうだま 砲弾のようなものが、いきなり飛込んで来ました。

【宮沢 みやざわ 賢治 けんじ「やまなし」より】

⑦ こんごう 金剛の露つゆひとつぶや石の上

【川端 かわばた 茅舎 ほうしや】

※金剛…ダイヤモンドのこと